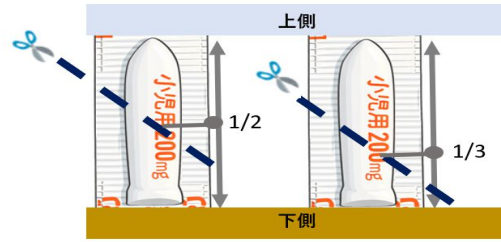


# 坐薬の使い方と順番について

- ①坐薬を用意します。冷蔵庫から出した直後は硬いため室温で数分おきましょう。  
坐薬を「半分に切る」などの指示がある場合は坐薬を包装に入っている状態のまま、ハサミやカッターなどで斜めに切ります。



- ②先のとがった方（太い方）から包装をはがし、ガーゼやティッシュペーパーの上に出します。  
(手で持ち続けると坐薬が溶けるため、いったんおきましょう)

- ③ディスポ手袋または薄手の食品用ポリ袋などを着用します。  
着用することで肛門の刺激に伴う突然の便意にも対応できます。  
処置はオムツや防水シートの上でおこないます。



- ④挿入時の抵抗・摩擦を軽減させるため坐薬の先端にワセリン・ベビーオイル・サラダ油・オリーブオイル・水などを塗ります。肛門にも同様に塗ります。

- ⑤坐薬の準備ができたならオムツを換える時のようにあかちゃんの両足をもって躊躇せず一気に入れてください。



- ⑥指の第一関節あたりまで肛門に入れて、坐薬が入ったらガーゼやティッシュで肛門を15秒ほど抑えて逆流を防ぎます。坐薬が入ったことを確認して、肛門周囲を拭きとります。

## ～2種類以上の坐薬を使用するルール～

- ・抗けいれん薬、制吐薬など緊急性のある坐薬から先に使用します。
- ・水溶性基剤の坐薬を先に使用し、30分以上経過してから油脂性基剤の坐薬を使用します。
- ・同一基剤の坐薬は最初の坐薬を使用後、5分後に次の坐薬を入れて大丈夫です。
- ・緩下剤（レシカル・テレミン）は他の下剤を使用後、1時間以上間隔をあけて最後に使用してください。

先に使用	後：30分以上経過後に使用	
水溶性基剤の坐薬	油脂性基剤の坐薬	
ダイアアップ坐薬	アンヒバ坐薬	ネリプロクト坐薬
ナウゼリン坐薬	ボルタレンサポ	新レシカルボン坐薬
レペタン坐薬	ルピアール坐薬	テレミンソフト坐薬
インドメタシン坐薬	アンベック坐薬	



おじさん薬剤師の日記

<https://kusuri-yakuzaishi.com/>